

## 第Ⅰ章 本年度の調査概要

本年度の調査は、表2にあるように、発掘調査4件、立会調査8件、試掘調査2件であった。

本年度は4月当初から9月初まで大規模な調査が行われた。本荘北地区（医学部附属病院）における病棟建設に伴う調査である（9901）。当初は昨年度に実施される予定であったが、平成10年度補正予算により理学部自然科学等総合実験棟新営事業が急遽浮上し、施設部との協議の結果自然科学等総合実験棟新営に伴う調査を優先して行い、当調査および年報の作成の終了を待って本年度に調査を実施することとなった。昨年度末に実施された本工事の事前整備工事に伴う立会調査で、古代の豊穴住居址や遺物包含層を確認していたが、本調査においてこれらを含む古墳時代前期から古代にかけての豊穴住居址や掘立柱建物址、溝などが確認された。本荘北地区における大規模調査は1996年におこなわれた医学部校舎建設に伴う調査（9601）に次ぎ2回目である。このときの調査でこの付近一帯では初めて古墳時代の遺構が確認されていたが、本調査地点で当該期の住居址が改めて検出された。土器など当該期の良好な資料も得られた。

黒髪南地区で実施された工学部工友寮跡地での実験

用プレハブ取設に伴う調査（9907）では、縄文時代後晩期の土器が出土した。明確な遺構は検出されなかったが、調査区の一部が白川にむかって傾斜しており旧河川敷かとも考えられる。

年次報告作成中である現在、衝撃・極限環境研究センター、サテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリービル建設に伴う発掘調査（9909）と水生動物飼育舎建設に伴う発掘調査（9911）を行っている。衝撃・極限環境研究センター、サテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリービル建設に伴う発掘調査では近世中期の畑遺構とそれに近い時期の墓が検出されている。200条余りの畠が整然と作られており、水洗選別による土壤の調査の結果、穀物類が検出されている。水生動物飼育舎建設に伴う調査では、9907地点同様に河川の土砂運搬の影響を受けたことが分かる一方、9907地点とは全く異なる旧地形で深さが3～4倍に達しており、古代の遺物包含層のほか縄文時代の遺物も出土している。縄文時代の遺物については9802調査地点と同様の層から出土しており、本地点でも包含層を2枚確認した。9907・9909調査地点を含め白川の河川沿いは、現在の整地された様子からは

表1 熊本大学敷地埋蔵文化財包蔵地指定一覧（アミ部分は本年度調査した地区を示す）

No.	地区名（学部名）	所 在 地	遺跡名称	遺跡の種類	遺跡の時代	備 考
1	黒髪北地区（法・文・教養） 黒髪北地区（教育）	熊本市黒髪2丁目40-1 熊本市黒髪5丁目17-1	黒髪町遺跡	集落址	縄文・弥生・ 奈良・平安	
2	黒髪南地区（工・理）	熊本市黒髪2丁目39-1	黒髪町遺跡	集落址	縄文・弥生・ 奈良・平安	
3	京町地区（教育学部附属小・中学校）	熊本市京町本町5-12	京町台遺跡	集落址	弥生・近世	
4	城東地区（附属幼稚園）	熊本市城東5-9	熊本城址	城館址・熊本城 関連遺構	近世	
5	教育学部新南部農場	熊本市新南部居屋敷240-1	新南部遺跡	散布地	縄文・弥生	
6	理学部臨海実験所	天草郡松島町大字会津 6061	前島貝塚	集落址	縄文・弥生	1995年度の調査 によって貝塚でな いことが判明
7	本荘南地区（医）	熊本市本荘2丁目2-1	本庄遺跡	散布地・集落址	縄文・弥生・ 奈良・平安・ 中世	
8	本荘北地区（医学部附属病院）	熊本市本荘1丁目1-1	本庄遺跡 (熊大病院敷 地遺跡)	散布地・集落址・ 墓地	縄文・弥生・ 古墳・奈良・ 平安・近代	
9	九品寺地区（医・薬）	熊本市九品寺4丁目24-1	本庄遺跡	散布地・集落址	縄文・弥生・ 奈良・平安・ 中世	周辺遺跡
10	薬学部	熊本市大江本町5-1	出水国府跡	官衙跡	奈良・平安	周辺遺跡
11	大江地区	熊本市渡鹿4丁目1-1	大江遺跡	集落址	奈良・平安	

図1 黒髪町遺跡・本庄遺跡の位置と周辺遺跡の分布図 (1/25000)

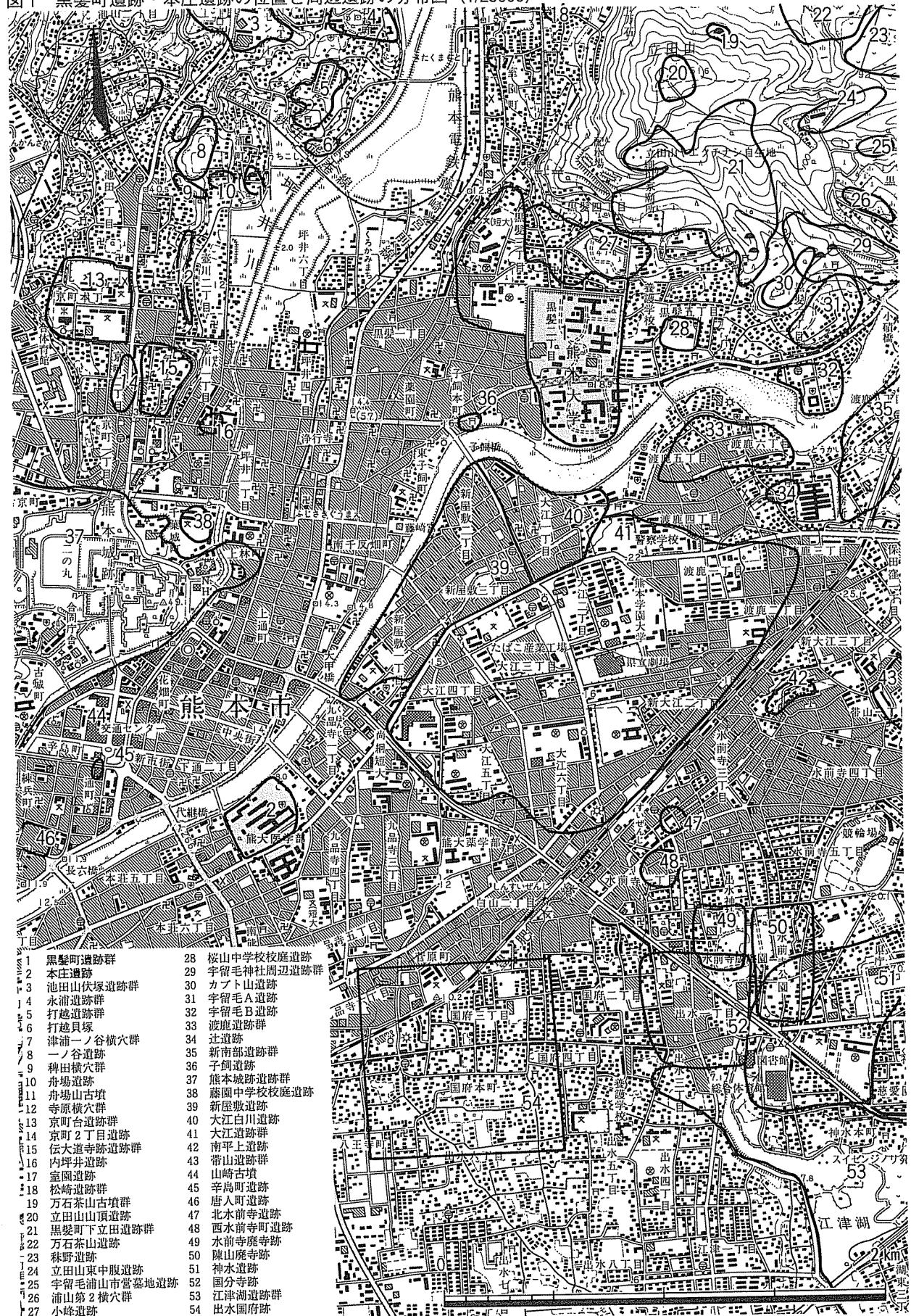


表2 1999年度調査一覧

調査期日	調査番号	地 点 名	調査の種類	調査面積	時 代	遺構・遺物
99・4・5～9・2	9901	(医病) 病棟(軸) 新営工事	発掘調査	2,405m <sup>2</sup>	縄文・古墳・古代・近代	縄文時代石器・玉・古墳時代住居址・溝・土師器・古代住居址・柱穴溝・土塚墓・土師器・須恵器・鉄器・胞衣壺・土鏡・近代溝.
99・6・14～7・14	9902	医学部エイズ学研究センター・動物資源開発研究センター新営電設工事立会	立会調査	40m <sup>2</sup>	古代	古代柱穴・溝・遺物を少量検出.
99・6・17	9903	工学部研究実験棟II-2-2新営工事に伴う植樹立会	立会調査	10m <sup>2</sup>		遺構・遺物なし.
99・7・19 99・7・26	9904	医学部エイズ学研究センター・動物資源開発研究センター新営基礎工事立会	立会調査	2m <sup>2</sup>	古代	遺構・遺物なし.
99・7・29～7・30	9905	自然科学研究科・理学部総合研究実験棟新営ガス設営工事	立会調査	50m <sup>2</sup>		遺物・遺構なし.
99・7・2～8・7	9906	自然科学研究科・理学部総合研究実験棟新営電気設営工事立会	立会調査	200m <sup>2</sup>	古代	古代溝6条・柱穴2個・古代土器片少量を検出.
99・9・22～10・5	9907	工学部実験用プレハブ新築工事	発掘調査	136.5m <sup>2</sup>	縄文時代前期～晩期	ピット群・縄文土器片出土.
99・11・24～11・25	9908	附属養護学校給食室増改築工事	発掘調査	42m <sup>2</sup>	近世以降	トレンチ2本設定して調査したが、遺構なし. 近世磁器片.
00・2・14～3・24	9909	工学部衝撃・極限環境研究センター・サテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリ 棟新営工事	試掘調査	1,853m <sup>2</sup>	近世・近代	畠址・墓地・近世陶磁器・煙管・銅・鉄錢.
00・1・25	9910	本荘団地北地区血液照射管理室増改築試掘	試掘調査	2m <sup>2</sup>		攪乱著しく、遺構・遺物ともに確認できず.
00・3・1～3・14	9911	黒髪団地南地区水生動物飼育舎建築工事	発掘調査	30m <sup>2</sup>	古代・縄文中・後期	古代土師器・須恵器・縄文土器.
00・3・14	9912	黒髪団地南地区・東地区外灯取設工事立会	立会調査	3m <sup>2</sup>		遺物・遺構ともに確認できず.
00・3・21	9913	医学部液化窒素供給設備新設工事立会	立会調査	7.84m <sup>2</sup>		遺物・遺構なし.
00・3・16	9914	本荘団地南地区さく井設備工事立会	立会調査	25m <sup>2</sup>		遺物・遺構なし.

予想し難い旧地形をしており、また河川を前に控えたところまで畠地として利用されていたことが明らかにされた。

本年度の調査は、本荘北地区や黒髪南地区の大規模な調査により、大学構内に限らずこの周辺においてもこれまで本格的な調査や確認のなされなかつた時代の遺構・遺物を検出・確認するなど、大きな成果を得た。また、その他の小規模な調査地点においても縄文時代の遺物包含層を確認しており、昨年度指摘したように今後の調査は古代の遺物包含層とともに縄文時代の包含層についても注意を払わねばならないことが確実となってきた。

このように、大学内に包蔵される遺跡群の重要性が認識される一方、発掘調査の規模は拡大する傾向にあり、得られる資料も増加している。本年度の大規模調査においても、膨大な量の資料が得られているが、こうした遺物の整理が滞っている。昨年度からは理化学的な分析の方法も導入し、徐々に成果を上げつつあるが、これらも限られた人手と時間の中で行っており十分とは言い難い。

遺跡から得られる情報を十分に収集し、遺物の精査を含め総合的な検討と評価を行うために、調査体制とその後の整理作業の整備が望まれる。